厚生労働大臣の定める掲示事項

(2025年5月1日現在)

I. 当院は、厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

II. 入院基本料について

3階病棟（地域包括ケア病棟入院料1）

1日に入院患者13人に対して1人以上の看護職員（看護師及び准看護師）を配置しております。また、入院患者25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。

4階病棟（地域一般入院料1）・（地域包括ケア入院医療管理料1）

1日に入院患者13人に対して1人以上の看護職員（看護師及び准看護師）を配置しております。また、地域一般入院料は、入院患者50人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。地域包括ケア入院医療管理料1は、入院患者25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。

勤務時間帯	職員一人あたりの受け持ち患者数
・ 08時30分～17時00分	看護職員一人あたりの受け持ち数は7人以上（看護配置15名以上）
・ 16時30分～00時30分	看護職員一人あたりの受け持ち数は17人以上（看護配置6名以上）
・ 00時30分～08時30分	看護職員一人あたりの受け持ち数は17人以上（看護配置6名以上）

III. 入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制、意思決定支援及び身体的拘束最小化について

当院では、入院の際に医師をはじめとする関係職員が共同して、患者様に関する診療計画を策定し、7日以内に文書によりお渡ししております。また厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制、意思決定支援および身体的拘束最小化についての基準を満たしております。

IV. 明細書発行体制について

当院では、医療の透明化や患者様への情報提供を推進していく観点から、2010年4月1日より、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても、2018年4月1日より、明細書を無料で発行しております。なお明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点ご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合、その代理の方への発行を含めて、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨お申し出ください。

V. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用について

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しています。医薬品の供給が不足した場合に、医薬品の処方等の変更等に関して適切な対応ができる体制を整えております。医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更になる可能性があった際には、患者様にご説明いたします。ご不明な点がございましたら、主治医にお尋ねください。

VI. 当院は九州厚生局長に下記の届出を行っております。

(1) 入院時食事療養について

入院時食事療養（I）を算定すべき食事療養の基準に係る届出を行っております。

当院は、入院時食事療養に関する特別管理による食事の提供をおこなっており、療養のための食事は管理栄養士の管理の下に、適時（朝食：午前8時・昼食：午後0時・夕食：午後6時）、適温にて提供しております。

尚、当院では各病棟へ食堂を設けております。食事の際に食堂を利用される方は事前に看護師にお申し出下さい。

(2) 基本診療料の施設基準等にかかる届出

届出項目	受理番号		算定開始年月日
情報通信機器を用いた診療に係る基準	(情報通信)	第48号	令和 4年 5月 1日
機能強化加算	(機能強化)	第490号	令和 4年 4月 1日
医療DX推進体制整備加算	(医療DX)	第533号	令和 6年 6月 1日
一般病棟入院基本料13対1	(一般入院)	第609号	令和 7年 4月 1日
救急医療管理加算	(救急医療)	第73号	令和 2年 4月 1日
診療録管理体制加算3	(診療録3)	第103号	平成23年 8月 1日
医療事務作業補助体制加算1	(事補1)	第11号	令和 5年11月 1日
看護補助加算	(看補)	第660号	令和 7年 4月 1日
重症者等療養環境特別加算	(重)	第476号	令和 元年 7月 1日
感染対策向上加算2	(感染対策2)	第34号	令和 7年 1月 1日
後発医薬品使用体制加算3	(後発使3)	第90号	令和 4年 4月 1日
データ提出加算	(データ提)	第77号	平成30年 4月 1日
入退院支援加算	(入退支)	第240号	令和 6年 8月 1日
認知症ケア加算2	(認ケア)	第85号	令和 4年 9月 1日
地域包括ケア病棟入院料1及び地域包括ケア入院医療管理料1	(地包ケア1)	第59号	令和 7年 4月 1日
地域包括ケア病棟入院料1及び地域包括ケア入院医療管理料1	(地包ケア1)	第63号	令和 7年 4月 1日
入院時食事療養 (I)	(食)	第1021号	平成23年 8月 1日

(3) 特掲診療料の施設基準に係る届出

届出項目	受理番号		算定開始年月日
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	(遠隔ペ)	第21号	令和 2年10月 1日
糖尿病合併症管理料	(糖管)	第48号	令和 3年 2月 1日
外来腫瘍化学療法診療料2	(外化診2)	第9号	令和 4年11月 1日
ニコチン依存症管理料	(ニコ)	第366号	平成29年 7月 1日
肝炎インターフェロン治療計画料	(肝炎)	第22号	平成23年 8月 1日
医療機器安全管理料1	(機安1)	第71号	平成23年 8月 1日
在宅療養支援病院	(支援病2)	第2号	令和 4年10月 1日
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料	(在医総管1)	第505号	平成23年 8月 1日
在宅がん医療総合診療料	(在総)	第560号	平成23年 8月 1日
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	(持血測1)	第16号	平成29年 5月 1日
検体検査管理加算 (II)	(検II)	第50号	平成23年 8月 1日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	(歩行)	第17号	平成24年 4月 1日
ヘッドアップティルト試験	(ヘッド)	第14号	平成24年 4月 1日
CT撮影及びMRI撮影	(C・M)	第336号	平成25年 8月 1日
外来化学療法加算2	(外化2)	第58号	令和 3年 7月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	(脳I)	第80号	平成24年 4月 1日
運動器リハビリテーション料 (I)	(運I)	第139号	平成24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	(呼I)	第85号	平成24年 4月 1日
がん患者リハビリテーション料	(がんリハ)	第62号	令和元年 7月 1日
人工腎臓	(人工腎臓)	第90号	平成30年 4月 1日
導入期加算1	(導入1)	第105号	令和 4年 4月 1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	(透析水)	第22号	平成30年 4月 1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	(肢梢)	第55号	令和 2年 4月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ペ)	第94号	平成23年 8月 1日
大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)	(大)	第41号	平成23年 8月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	(胃瘻造)	第95号	平成27年 6月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥)	第52号	平成27年 6月 1日
外来・在宅ベースアップ評価料 I	(外在ベI)	第210号	令和 6年 6月 1日

入院ベースアップ評価料39	(入ベ39)	第1号	令和 6年 6月 1日
酸素の購入単価	(酸単)	第46433号	令和 7年 4月 1日

(4) 透析患者様の下肢末梢動脈疾患に対する取り組みについて

当院では、慢性維持透析を行っている患者様に対し、下肢末梢動脈疾患に関する検査を行っております。検査の結果、専門的な治療が必要と判断した場合は、その旨をご説明し同意をいただいた上で、連携医療機関へ紹介させていただいております。

下肢末梢動脈疾患に関する連携医療機関：鹿児島大学病院

(5) 情報通信機器を用いた診療について

当院では、情報通信機器を用いた診療を行う際に、初診時においては向精神薬の処方を行いません。

(6) 機能強化加算について

当院では、健康診断の結果等に係ること、保健・福祉サービスに関することなども含め、夜間・休日を含め対応及び必要に応じた専門医又は専門医療機関への紹介を行っております。また医療機能情報提供制度を利用してかかりつけ医機能を有する医療機関が検索可能となっています。

(7) 医療情報取得加算について

当院では、オンライン資格確認を行う体制を有しております。受診歴、薬剤情報、特定健診情報その他必要な診療情報を取得・活用して診療を行います。マイナ保険証の利用にご協力をお願いします。

(8) 医療 DX 診療体制加算について

当院では、医療 DX を推進するための体制として、以下の項目に取り組んでいます。

- ① オンライン請求を行っております。
- ② オンライン資格確認を行う体制を有しております。
- ③ 電子資格確認を利用して取得した診療情報を、診察室で閲覧又は活用できる体制を有しております。
- ④ 電子処方箋を発行する体制については導入時期を検討しております。
- ⑤ 電子カルテ情報共有サービスを活用できる体制については今後導入時期を検討しております。
- ⑥ マイナンバーカードの健康保険証利用について、お声掛け・ポスター掲示を行っております。
- ⑦ 医療 DX 推進の体制に関する事項及び質の高い診療を実施するための十分な情報を取得・活用して診療を行うことについて、当該保険医療機関の見やすい場所に掲示しております。
- ⑧ 医療 DX 推進の体制に関する事項及び情報の取得・活用等についてウェブサイトに掲載を行っております。

(9) 医師事務作業補助体制加算について

当院では、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善として、医師事務作業補助者の文書補助や他職種との業務分担に取り組んでいます。

(10) 看護職員配置加算、看護補助加算、看護補助体制充実加算について

当院では、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善として、看護職員と他職種との業務分担、看護補助者の配置、短時間正規雇用の看護職員の活用、妊娠・子育て中・介護中の看護職員に対する配慮、夜勤負担の軽減、院内保育所及び病児保育の設置等に取り組んでいます。

(11) 入退院支援加算について

当院では、病棟ごとに専任の入退院支援職員を配置し、患者様が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院のご支援を実施しております。

各病棟に掲示をしておりますのでご覧ください。

(12) 生活習慣病管理料Ⅱについて

生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病）に関して、療養指導に同意した方が対象となります。患者様の状態に応じ、医師の判断のもと、リフィル処方や28日以上 of 長期の投薬を行う場合がございます。

(13) ニコチン依存管理料について

当院はニコチン依存症管理料の届出を行っており、禁煙の為の治療的サポートをする禁煙外来を行っています。屋内外を問わず、「病院敷地内全面禁煙」になっております。

(14) 一般名処方加算について

当院では、後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方（一般的な名称により処方箋を発行すること）を行う場合があります。一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者様に必要な医薬品が提供しやすくなります。

※一般名処方とは

薬の「商品名」ではなく「有効成分」を処方箋に記載することです。そうすることで供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数の薬が選択でき、患者様に必要な薬が提供しやすくなります。

VII.保険外負担に関する事項

- (1) 当院では、室料の「差額徴収」は行っておりません。
- (2) 病衣使用料、証明書、診断書などにつきましては、その利用日数、使用量、利用回数に応じて実費のご負担をお願いしております。

【診断書等】※消費税込み

○普通診断書	(規定料金) 1,100円	○普通診断書	(組合員料金) 550円
○死亡診断書	(規定料金) 4,400円	○死亡診断書	(組合員料金) 3,080円
○生命保険診断書	(規定料金) 5,500円	○生命保険診断書	(組合員料金) 3,850円
○障害年金診断書	(規定料金) 4,714円	○障害年金診断書	(組合員料金) 3,300円
○身体障害者診断書	(規定料金) 4,714円	○身体障害者診断書	(組合員料金) 3,300円

【その他】※消費税込み

○病衣 (1日) 88円	○タオル (1日) 110円	○オムツ軽度 (1日) 198円	○オムツ標準 (1日) 440円
○カミソリ (3本入り) 200円	○クルリーナブラシ1本 (口腔ケア) 532円	○付添い用寝具 (一式1日) 110円	
○死亡退院時着物 2,900円			

※予防接種に関する事その他の書類やご不明点は、1階窓口でお尋ねください。

(3) 保険外併用療養費に関する事項

医療品の治療に係る診療 治療診療 (第 335号) 治療薬名称:SSM 注射薬

上記につきまして当院では保険外療養費の支給対象となる先進医療等をおこなうにあたり、予め患者様に対しその内容及び費用に関して説明を行い、患者様の自由な選択に基づき同意を得て治療を行います。

VIII.その他

- ・当院では、安全な医療を提供するために、医療安全管理者等が医療安全管理委員会と連携し、より実効性のある医療安全対策の実施や職員研修を計画的に実施しています。
- ・当院では、感染制御のチームを設置し、院内感染状況の把握、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止等をおこない、院内感染対策を目的とした職員の研修を行っています。
- ・当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報適切に管理することを社会的責任と考えます。個人情報保護に関する方針を定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。
- ・当院では、患者様が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院のご支援を実施しております。
- ・当院では、屋内外を問わず、「病院敷地内全面禁煙」となっておりますので、ご理解とご協力をお願いします。